

## 国道3号 道の駅「たちばな」が 重点『道の駅』に選定されました

～地域創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

全国の「道の駅」に対し、平成26年度から関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた取組みを選定し、重点的に応援する取組みを実施しています。

平成27年度は、地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」に関する企画提案を募集し、八女市立花町の道の駅「たちばな」が重点『道の駅』に選定されました。

### 道の駅「たちばな」における取組み(福岡県八女市)

#### 【産業振興】

○充実した直売所で地域産業の活性化を図ります。

#### 【地域福祉】

○地域生活環境の維持・向上のため、医療・福祉の拠点化や、日用品調達の拠点化を図ります。

#### 【交流・連携・地方移住促進】

○竹林公園で広域的な交流と連携、行政のサテライト機能の構築を図ります。

#### 【位置図】



#### 【詳細位置図】



「この背景地図等のデータは、国土地理院の電子Webシステムから配信されたものである。」

### 問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

技術副所長 福崎 昌博 (内線205)

交通対策課長 上田 晴気 (内線471)

電話:092-681-4731(代表)

E-mail: [fukkoku@qsr.mlit.go.jp](mailto:fukkoku@qsr.mlit.go.jp) URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

- 道の駅を拠点に地域福祉の向上と地域住民の安全安心な地域コミュニティ再生による行政サテライト機能の充実
- 農産物の信頼性をさらに向上するためのトレーサビリティ<sup>(※)</sup>を活用した農産物管理システムの構築による地産地消の促進
- 空き家バンク制度を活用した移住定住等の促進



<b>産業振興</b> 充実した直売所で地域産業の活性化	<b>地域福祉</b> 地域生活環境の維持・向上	<b>交流・連携及び地方移住等促進</b> 竹林公園で広域的な交流と連携、行政のサテライト機能を構築				
---------------------------------	-----------------------------	---	--	--	--	--

### <課題>

#### ①地域の生活環境の低下と 地域コミュニティの存続危機

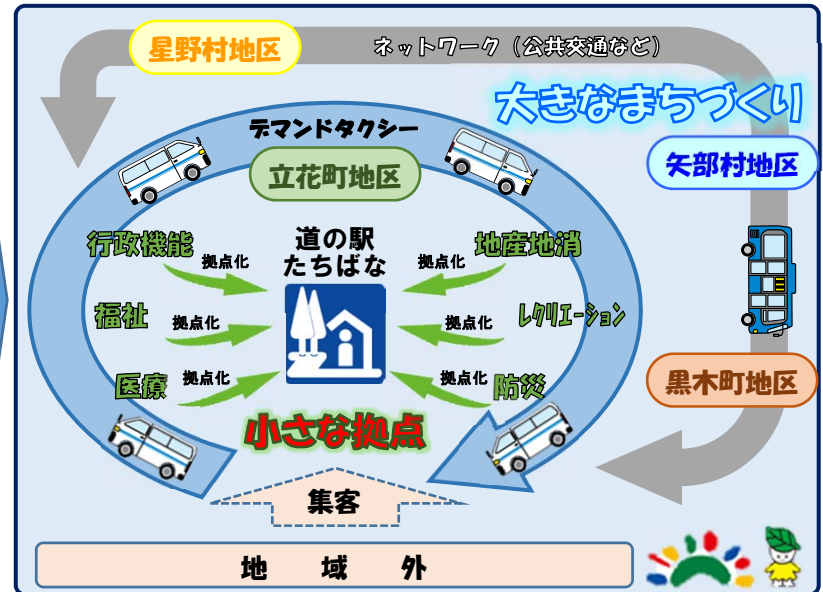
九州自動車道の開通により国道3号の交通量が減少し沿線の店舗等が衰退するとともに、広域合併により学校等の統廃合や路線バスの運行形態も縮小され、**地域コミュニティの存続**が危ぶまれている。

なんでも(施設)がなくなって、寂しくなりました。日用品を買うところもなくなって、困っています。  
(八女市立花地区の住民の声)

#### ②基幹産業である農業の低迷、 活性化に向けた中核拠点が不在

少子高齢化や農家の後継者不足、嫁不足、地場産業の衰退、**限界集落の発生**により、農業人口が減少し農地(田畑)や山林が荒廃化しているとともに、地域の活性化に不可欠な**中核拠点が不在**な状況である。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
たちばな	福岡県	八女市	国道3号	既設	平成16年	一体型



### <提案の先駆性・ポイント>

一人暮らし高齢者の安全安心な暮らし  
実現の先駆モデル

これまで  
行政、福祉、  
医療施設へ  
利用者が  
個別に赴く

これから(提案)  
道の駅に行政窓口や福祉に  
関するサテライト施設を設ける  
ことで、地域福祉の向上と魅力  
ある交流を創出

### <実施内容>

- 道の駅を拠点に、**地域福祉の向上と安全安心コミュニティの再生**  
⇒行政のサテライト機能の構築、地域交流・地域福祉・地域交流の拠点化の構築、宅配事業者と連携した集荷・配達業務の構築、日用品の調達
- 魅力ある**交流と連携**による創造から**定住促進**へ  
⇒定住促進に向けた行政サービス、消費者や他の道の駅との交流活動の推進、交流施設の整備、大学との連携
- 品質の高いこだわりの**地元産の農作物の販売**と**地産地消の推進**  
⇒地産地消の推進強化、6次産業化の促進による魅力的な商品開発、販売ブースの改修、遊休農地の利活用の推進